

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月15日
【事業年度】	第192期(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)
【会社名】	富士紡ホールディングス株式会社
【英訳名】	Fujiibo Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中野光雄
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
【電話番号】	東京(03)3665-7641
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 野口篤謙
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
【電話番号】	東京(03)3665-7641
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 野口篤謙
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) 富士紡ホールディングス株式会社 大阪支社 (大阪市中央区本町一丁目8番12号(日本生命堺筋本町ビル)) (上記の大阪支社は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して、縦覧に供する場所としております。)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年6月29日に提出いたしました第192期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 対処すべき課題

(株式会社の支配に関する基本方針について)

(2) 基本方針の実現に資する取組み

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(4) 翌連結会計年度の見通し

第5 経理の状況

2 財務諸表等

(2) 主な資産及び負債の内容

流動負債

2 短期借入金

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

3【対処すべき課題】

(株式会社の支配に関する基本方針について)

(2) 基本方針の実現に資する取組み

(訂正前)

< 前略 >

イ．企業価値向上のための取組み

当社は、企業価値の向上に向けた取組みとして、平成24年3月期(2011年度)を初年度とし平成26年3月期(2013年度)を最終年度とする、3ヵ年の中期経営計画『突破11-13』を策定している。本計画期間を「成長軌道へのテイクオフ」期間と位置づけ、成長への大胆なパラダイム転換とそれに耐えうる経営体力の充実に取組み、当社グループのありたい姿である「有機材料技術で未来を拓く、高付加価値創造企業」実現に向けて、本格的業容拡大へのブレークスルーを目指す。

当該中期経営計画においては、「強固な市場プレゼンスの確立」を最終目標とし、顧客満足度の向上、ブランド力の強化を実現するため、事業の成長加速、収益力あるニッチNO.1、経営力の高度化、を経営戦略に掲げ、より一層の企業価値の向上に取り組み、中期経営計画の目標である平成26年3月期(2013年度)の連結売上高45,200百万円、連結営業利益5,700百万円の達成に向けて邁進していく。

< 後略 >

(訂正後)

< 前略 >

イ．企業価値向上のための取組み

当社は、企業価値の向上に向けた取組みとして、平成24年3月期(2011年度)を初年度とし平成26年3月期(2013年度)を最終年度とする、3ヵ年の中期経営計画『突破11-13』を策定している。本計画期間を「成長軌道へのテイクオフ」期間と位置づけ、成長への大胆なパラダイム転換とそれに耐えうる経営体力の充実に取組み、当社グループのありたい姿である「有機材料技術で未来を拓く、高付加価値創造企業」実現に向けて、本格的業容拡大へのブレークスルーを目指す。

当該中期経営計画においては、「強固な市場プレゼンスの確立」を最終目標とし、顧客満足度の向上、ブランド力の強化を実現するため、事業の成長加速、収益力あるニッチNO.1、経営力の高度化、を経営戦略に掲げ、より一層の企業価値の向上に取り組む。

< 後略 >

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(4) 翌連結会計年度の見通し

(訂正前)

今後のわが国の経済は、一部に明るい兆しが見受けられるものの、厳しい事業環境が続くと考えられる。新中期経営計画『突破 11-13』の2年目となる平成24年度は、本計画の基本戦略である「研磨材事業」、「繊維事業」、「化学工業品事業」の重点3事業の更なる成長加速に取り組んでいく。

以上に基づき、次期の業績予想については、売上高38,500百万円（前期比6.1%増収）、営業利益3,800百万円（前期比8.6%増益）、経常利益3,500百万円（前期比9.7%増益）、当期純利益2,000百万円（前期比53.1%増益）を見込んでいる。

ただし、上記業績予想は当連結会計年度末現在において判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がある。

(訂正後)

今後のわが国の経済は、一部に明るい兆しが見受けられるものの、厳しい事業環境が続くと考えられる。新中期経営計画『突破 11-13』の2年目となる平成24年度は、本計画の基本戦略である「研磨材事業」、「繊維事業」、「化学工業品事業」の重点3事業の更なる成長加速に取り組んでいく。

第5【経理の状況】

2【財務諸表等】

(2)【主な資産及び負債の内容】

流動負債

2 短期借入金

借入先別

(訂正前)

社名	金額(百万円)
(株)三菱東京UFJ銀行	1,171
(株)みずほ銀行	900
(株)百五銀行	900
(株)百十四銀行	700
その他	2,117
合計	5,788

(訂正後)

社名	金額(百万円)
(株)三菱東京UFJ銀行	1,171
(株)みずほ銀行	900
(株)百五銀行	900
(株)大分銀行	700
その他	2,117
合計	5,788